

建第07002号
平成20年10月16日

国土交通省道路局長 様

岩手県一関市長 浅井 東兵衛

今後の道路行政についての意見・提案について

標題につきましては、別紙により提出いたしますのでよろしくお願い申し上げます。

当市は、県都である盛岡市と仙台市の中間に位置し、東北新幹線、東北縦貫道等の南北線に国道284号、国道342号等の東西幹線が連接しており、古くから交通の要衝として産業、経済、文化の面において岩手県南・宮城県北の中核都市として発展してきた。

しかしながら、都市間距離もあり、積雪寒冷地で、さらに、県境にあることから、幹線道路網の整備は不十分であり、様々な観光資源の活用や内陸部と沿岸部の円滑な連携交流をさまたげてきた。

都市圏との物流及び交流の促進、緊急医療体制の確保等のさまざまな機能集積により地域の活性化をはかるため、高速交通網の整備は、重要かつ、緊急の課題である。また、地方の市町村道から国道に至る体系的な道路網の整備がさらに必要であり、また、日常生活に直結する生活関連道路についても整備率は50%以下と低く、安全で安心して暮らすことのできる地域社会を構築するためには、今後も進めなければならないが、そのための財源確保が非常に厳しい状況にある。道路特定財源から一般財源化へ改正が予定されているが目途が立っておらず、今後の道路整備計画が立てられない状況となっている。

については地方道路整備臨時交付金の存続と拡充及び地方道路整備臨時貸付金の存続を強く望むものである。

○現状

当市は平成17年9月に6市町村が合併し、県内最大の面積を有する新市として誕生した。岩手・宮城県境の中核都市としての機能を高め、広域的な産業振興に向けたまちづくりに取り組んでいる。

合併後の地域社会の再構築のため、協働推進のまちづくりを市民との共有認識をはかりながら進めている。

現在の課題である少子高齢化や就労の場がないことから、将来過疎化の進行を不安に感じる地域の声がある。

市民が安心して暮らせる環境整備と、企業誘致による産業振興をはかり、若者の働く場の確保が急務となっている。

また、本市は積雪寒冷地域で厳しい自然条件にあることから、観光資源の活用や内陸部と沿岸部の円滑な連携交流が妨げられている。市域の広い当市にとって、住民が安全で安心して暮らすことが出来る日常生活、社会経済活動を行う手段として車は生命線である。

地域間の連携促進を図り、活力ある地域づくりを推進するため、しっかりした道路網整備が益々必要である。

○課題

- ・ 沿岸部と内陸部を結ぶ基幹骨格となる地域高規格道路の整備促進
- ・ 基幹道路となる国道、県道の体系的な整備促進
- ・ 地域間を結び、国、県道を補完する市道から生活関連市道に至るまでの道路網の整備
- ・ 地形上の制約により危険な箇所は多数ある。地震や豪雨等災害に強い、安全安心に暮らすことが出来る道路整備

○ 人と情報が、活発に行き交うふれあいと連携のまちづくり

- ・ 地域内外との交流連携活動を促進するとともに人やもの、情報の交流のための基盤整備を行い
市民一人ひとりがつながりを感じるまちづくりを目指す。
- 1. 県境中核都市としての機能を高め、広域的な産業振興に向けた基幹道路網の整備促進
- 2. 地域間交流を促進し、住民生活の利便性を向上と安全安心の社会に向けた道路網の整備
- 3. 各地域にはこれまで育まれてきた歴史、文化がある。これら地域特性を活かしたつながりのあるまちづくりを進めるためには、連携と交流を促進するための道路網整備

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

岩手県一関市

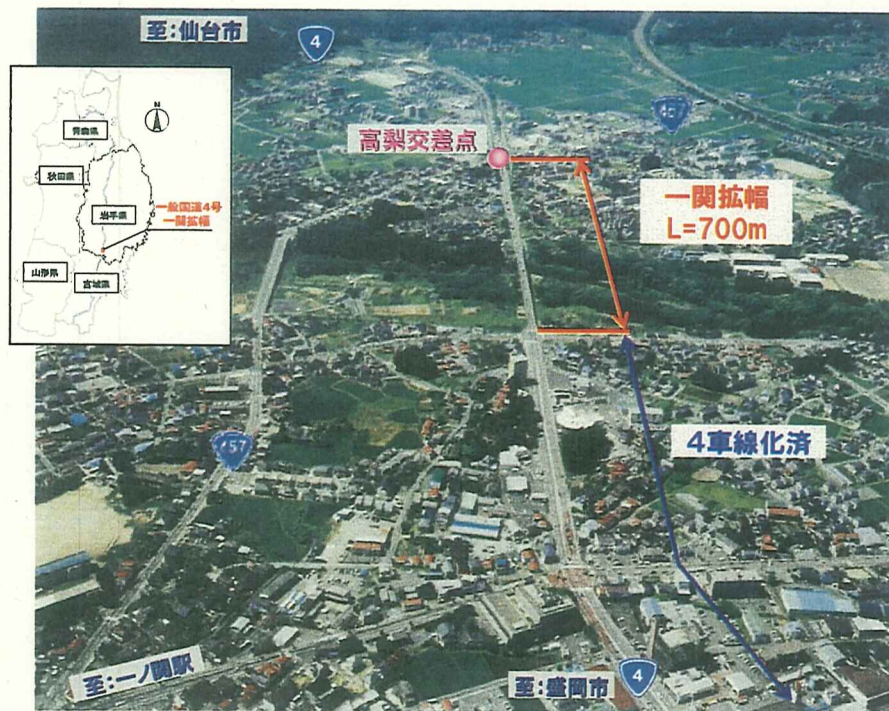
○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・渋滞解消および交通事故減少に向けた車線拡幅 ⋮	一般国道4号 ・一関市街地を通る国道4号の日平均交通量は19,000台(H17交通センサス)となっており、慢性的渋滞解消にむけ、平成8年度から10年度まで、国道342号交差点から磐井川に架かる一関大橋までの間1,400mについて4車線化の整備が行われた。 しかし、一関大橋から、国道284号が交差する高梨交差点までの700mについては、2車線のままとなっていることから、整備効果は十分発揮しておらず、依然、2車線区間は渋滞および事故が発生している。	① 容量拡大による渋滞解消 ② 走行性向上による交通事故の減少 ③ 平泉バイパスが全線開通し、上り線は一関までスムーズな走行が確保された。ネックとなっている一関区間の4車線化の整備が行われることにより、物流を初め、あらゆる面でさらに効果が期待できる。	

国道4号の拡幅整備(4車線化)について

- ・当市内の国道4号は、岩手県南・宮城県北の産業、経済、教育、文化などの地域振興を支える重要な幹線道路です。市町村合併に伴い、遠隔地からの通勤車両等による市街地流入で、朝夕は慢性的な渋滞が発生しています。
- ・また、当区間は、**過去10年間で87件**の死傷事故が発生しており、事故多発箇所となっています。

○早期の4車線拡幅を・・・

- ・当地区の4車線化整備により、事故の減少・通勤時の円滑な交通流が確保され、企業誘致の促進に拍車がかかるほか、気仙沼生活圏及び宮城県栗原生活圏を視野に入れた通勤エリア拡大にも繋がり地域の活性化が図られます。



～岩手県一関市～

